

前ページより続き

対する職員課の答弁は、ひたすら条例通り規定通りなので問題ないというものでした。これについては今後も引き続き質疑を重ねていくつもりで質疑を終えましたが、場内からは「甘い!」とヤジが・・・

条例通り、規定通りなら問題ないのが世間の常識です。他の市と横並びに、というのも常識かもしれません。でも今は、条例や規定がそもそも間違っていないか、市独自の考えもあるのではないかと、常識を問います時期だと思います。今後もガンバリマス。



職員厚遇問題について

大阪市の厚遇問題について、枚方市の現状はどうなのか、比較を表に出してもらいました。組合との癒着の結果、



組合の植民地と化しているような大阪市と比べれば問題は比較にならないほど少ないのですが、私が過去質問をしてきた事でもある互助会や健康保険組合などは、今後も引き続き指摘を続けていきます。



職員の勤務時間（7時間45分）について

8時間勤務というのが私の主張するところなのですが、それにはまだ15分足りないというのが実態です。私が問題にするのは役所の勤務時間の長短そのものではなく、

「同じ給与でより短い勤務時間」ということが、「賃金が時間という形で供与」されているということではないか、即ちどこかでお手盛りと同義になっているのではないかということです。お手盛りということは、与える側と与えられる側があるということです。そして肝心のサービスを受ける側の

市民は、そこから排除されています。

15分といえば僅かな時間ではありますが、現在の給与から割出した時間給で換算すると、計算上は年間で約6億円になります。これは時間をお金に換算した結果なので、現実には15分の長短はあっても給与額が変わることはありません。それならば、なぜルール通りの8時間勤務で通せないのか、少しでも長くサービスを提供することを、何故すぐ実行できないのか。素直に考えて疑問です。



役所内ニート？

診断書なしで病気休暇を取ったり無断欠勤するなどして、何もせずに給与だけもらっているという、恵まれたニート？のような人が他市職員にはいるらしいのですが、枚方市ではどうなのかを質問しました。

